

第 14 回 共和町教育委員会議事録

- 1 日 時 平成29年12月25日(月) 午前9時56分開会
- 2 場 所 生涯学習センター 第2学習室
- 3 出席委員 職務代理者 佐々木 従 行
委 員 島 光 志
委 員 駒 形 貴 之
委 員 水 戸 由 美
- 4 事務局出席者 教 育 長 小 林 英 樹
管 理 課 長 齊 藤 隆 信
生涯学習課長 宮 崎 勝 雄
学校給食センター所長 酒 井 龍 一
書 記 高 橋 慶 行
- 5 署名委員 佐々木 委 員
- 6 議 題 議案第1号 「平成30年度全国学力・学習状況調査」への参加について
報告第1号 「平成29年度全国学力・学習状況調査」結果について
報告第2号 平成29年度教育費補正予算について
報告第3号 平成29年第4回町議会定例会における一般質問について
報告第4号 平成30年度教育費予算要求の概要について
そ の 他 1) 教育委員会諸般報告について
2) 1月の行事予定について
3) その他

議 長 皆さん、おはようございます。定刻前ではありますが、お揃いですので始めたいと思います。早いもので今年も残すところあと1週間あまりとなりました。委員の皆様には、この1年教育行政にお寄せいただきました、ご支援ご協力を厚く深く感謝申し上げたいと思っております。それでは、早速本年最後の第14回共和町教育委員会会議を開催したいと思います。本日の議事録署名委員は佐々木委員にお願いしたいと思います。よろしく願いいたします。それでは、早速議案に入りたいと思います。議案第1号「平成30年度全国学力・学習状況調査」への参加について説明をお願いします。

事 務 局 それでは、議案第1号「平成30年度全国学力・学習状況調査」への参加についてであります。文部科学省が行います、平成30年度全国学力・学習状況調査への参加について決定を求めるものでございます。

【議案第1号「平成30年度全国学力・学習状況調査」への参加について に基づき調査の目的の説明】

なお、この全国学力・学習状況調査は平成19年度から毎年度実施されているところでございますけれども、共和町におきましては、平成27年度からこの

調査結果につきまして、町広報にて町民に周知をしているところでございます。

この結果公表によりまして、学校、家庭、地域、行政が課題を共有し、一体となった学力向上が促進されると考えているところでございます。なお、30年度の実施日につきましては、この記載のとおり、30年4月17日火曜日でございます。対象児童生徒は、小学校6年生と中学校3年生で、調査事項の教科につきましては、国語、算数、数学、理科の3教科となっております。なお、理科につきましては3年に1度実施をしております、前回実施が平成27年度ということで、今回3度目の調査となります。また、併せまして児童生徒や学校に対する質問紙調査も行われることになっております。なお、実施方針の決定につきましては、これまで同様、来年3月の教育委員会会議で予定しているところでございます。以上で説明を終わります。

議 長 ありがとうございます。この件に関しましては先日の新聞でも記載されておありまして、今回先程説明があったとおり、理科が3年ぶりに加わっての調査内容となっておりますが、この件について、ご質問ご意見等ございますでしょうか。なければ承認というかたちでよろしいでしょうか。

各 委 員 【なしの声あり】

議 長 はい。ありがとうございます。それでは、次の報告第1号へ移りたいと思います。報告第1号は「平成29年度全国学力・学習状況調査」結果についてであります。説明をお願いします。

事 務 局 報告第1号「平成29年度全国学力・学習状況調査」結果についてであります。平成29年4月に実施した、全国学力・学習状況調査の共和町における調査結果を次のとおり報告いたします。

【以降 報告第1号「平成29年度全国学力・学習状況調査」結果、「平成29年度全国学力・学習状況調査」結果資料及び添付資料に基づき説明】

【引き続き議案資料※結果度数分布 説明】

(内容)

共和町の平均正答率の度数分布を示したグラフでございます。全道179市町村中結果を公表しております170市町村の中で共和町が位置する階層を示したものでございます。なお、グラフにつきましては町村数については縦軸、横軸につきましては平均正答率を3%の幅で示しているところでございます。また、このグラフは各教科における平均正答率を全道的な視野から把握するとともに、学力向上に向けた成果と課題を客観的に確認することにより、学力向上の具体的な方策等の参考にすることができます。それでは、説明に入らせていただきます。

まず、小学校国語 A 基礎知識を問う問題においては、共和町の平均正答率は7

1%ということで、70%から73%未満の範囲にございます。言い換えれば、170市町村中92番目から133番目の範囲に位置しているということになってきます。次に小学校国語B応用力を試す問題においては、共和町の平均正答率は54%で54%から57%の範囲に位置しており、69番目から102番目の範囲に位置しております。小学校算数A基礎知識を問う問題においては、共和町の平均正答率は74%で、72%から75%未満の範囲に位置しており、120番目から144番目の範囲に位置しております。次に小学校算数B応用力を試す問題においては、共和町の平均正答率は42%で42%から45%未満の範囲に位置しており、49番目から86番目の範囲に位置しております。それでは、別添の資料をご覧ください。

(以降 添付資料説明)

まず、上段の小学校でございますけれども、資料に記載のとおり、昨年度平成28年度におきましては全体的に全道全国平均以上の結果でございましたが、本年度につきましては全体的に全道全国平均に達していない結果となっております。また、中段には各学校別の結果を記載しておりますので、後程ご覧いただきたいと思っております。それでは、また議案をご覧ください。

(議案資料※結果度数分布 説明)

中学校国語Aにおきましては、平均正答率が80%で78%から80%未満の範囲に位置しており、19番目から41番目の範囲に位置しております。また、中学校国語Bでは、平均正答率が70%で68%から71%未満の範囲に位置しておりまして、93番目から123番目の範囲に位置しております。次のページをご覧ください。数学Aでは平均正答率が55%で53%から56%未満の範囲に位置しておりまして、142番目から156番目の範囲に位置しております。次の数学Bにおきましては、平均正答率が47%で45%から48%未満の範囲に位置しておりまして、48番目から87番目の範囲に位置しております。

中学校におきましては28年度昨年でございますけれども、全道全国平均に達していない結果となりましたが、今年度につきましては国語Aで全道全国平均以上国語B数学では全道全国平均に達していない結果となっております。単純な比較はできませんけれども、学習状況の改善が必要と考えているところでございます。教育委員会としましては、道教委が掲げます、全ての教科で全国平均以上という目標が達成できるよう学力向上の取り組みを推進して参りたいと考えているところでございます。また、各学校には本調査の結果を参考として、調査結果に基づいた多角的な分析を行い、児童生徒1人1人に確かな学力が身に付くよう指導をお願いしているところでございます。次のページの児童生徒に対する質問紙に関する調査の概要について説明申し上げます。なお、この調査につきましては、小学校につきましては49人中47人の児童が参加しております。2名は体調不良で欠席をした状況です。中学校につきましては、対象者41人中36人がこの質問紙調査に参加をしているところでございます。それでは、資料の方説明させていただきます。

【以降 児童生徒質問紙集計結果説明】

概要の質問紙について説明しましたが、委員会としましてはこのような調査、分析した結果を何点か課題と思っているところがございます。1点目でございますけれども、まず、学校と家庭が連携協力して家庭学習を習慣付けるそういった姿勢がより一層必要であると考えているところがございます。それから、2点目として物事に自信を持って実施できるようにより自己肯定感を増すそういった取り組みが重要であると考えております。また、3点目として中学校の質問紙の中で数学の勉強が好きと回答した割合が全道全国の割合をかなり下回っていることで、学校での指導計画、また指導方法の工夫改善を考えているところがございます。それ以外にも、諸々課題等ありますけれども、特に以上の3点は改善課題と考えているところがございます。それから、次のページですが結果公表の関係でございますけれども、来月号の広報に全戸配布で予定をしているところがございます。以上で説明とさせていただきます。

議 長 報告第1号「平成29年度全国学力・学習状況調査」の結果について説明があった訳なのですが、4月18日に調査を行って9ヵ月くらい経つ状況にあって、各小中学校共に自前で調査結果を分析しまして、もう既に学力向上対策に向けて実施している状況にあります。具体的には学力状況調査結果公表についての裏面に小中学校における学力向上策というような点で何点か記載しております。小中学校における学力向上策ということで全部で6点転記しておりますので、このような取り組みをして次年度のテストに、状況調査へ向けて活動しているという状況でございます。若干補足説明させていただきましたけれども、この件についてご質疑等承りたいと思っておりますがいかがでしょうか。

島 委 員 中学校の数学の主な原因というところで言うと、全体的に個々には学校へ行って個人的には分かりますよね。その一覧を委員会で見られて、いわゆる平均値にぐっと集まっている点数なのか、上と下が開ききった点数なのかでその辺が違ってくるかと思うのですよ。見方がね。だから本当に数学の根本的なかけ算とか割り算とか意識していない状態の子ががと低い点数で、大まかに言うと一般にはいいんだという、その平均を取ったら下がりますよね。そういう見解はどうなのでしょう。

事 務 局 結構ばらつきがあります。何回か委員会の方にもお話しさせてもらっておりますけれども、中学校へ上がってもなかなか九九ができないとかそういった生徒が実際にいるようです。ですから、数学とかは九九ができないと基本中の基本ですから、結局授業でもお客さんになってしまう。ですから、小学校の時からそういった積み重ねですから数学は。小学校の時の指導が大事なかなと感じています。

島 委 員 授業を見ているとお客さんの方がね。いるから平均するとかえってね。下がる

のかなと。

- 島 委 員 小 学 校 時 代 の 計 画 性 や ら そ の 算 数 の 取 り 組 み と い う の が 課 題 に な っ て く る の か
な と 思 う の で す け れ ど も 、 小 学 校 の 平 均 値 も ど う な ん だ と 。 下 の 層 が 多 い の か 、
そ の 辺 が 共 和 町 の 全 体 的 な と ころ は ど こ に あ る の か と い う と ころ な の で す け れ
ど も 。
- 事 務 局 小 学 校 も 支 援 員 を 各 小 学 校 に 入 れ て い ま す け れ ど も 、 支 援 が 必 要 な 子 に つ い て
は 支 援 員 が つ い て そ う い っ た 勉 強 を 教 え て い ま す 。 分 か ら な い 生 徒 に つ い て は
支 援 員 が 付 い て 色 々 教 え て い る と い う よ う な 状 況 に は あ る の で す が 、 な か な か
思 っ た よ う に は い か な い と い う 現 実 も あ り ま す 。
- 佐 々 木 委 員 算 数 は 積 み 重 ね だ か ら 、 基 礎 が 分 か ら な か っ た ら 分 か ら な い よ ね 。 や っ ぱ り 小
学 校 低 学 年 ま で に 確 実 に 基 礎 計 算 は 習 得 し て も ら わ な い と 、 な か な か そ れ 以 降
い く ら 教 え て も 分 か ら な い か と 思 う の で す よ ね 。 や は り 学 校 だ け の 指 導 じ ゃ 限 度
が あ る の で 、 保 護 者 の 指 導 も 必 要 が あ る の で は な い か と 思 う の で す よ ね 。 家
庭 学 習 の 面 も 含 め ま し て ね 。
学 校 だ け の 指 導 じ ゃ 限 ら れ る と 思 う の で す よ 。 授 業 時 間 終 わ っ た 後 か ら の 指 導
と い う の は 。 限 ら れ た 時 間 で す の で 、 や は り 家 庭 学 習 が も う 少 し 充 実 し て も ら
わ な い と 、 な か な か 学 力 向 上 に は 繫 が っ て い か な い の で は な い か と 思 う の で 、
そ の 辺 り を 含 め て や は り 指 導 が 必 要 で は な い か と 思 い ま す 。
- 事 務 局 家 庭 学 習 も 、 も し 3 0 分 な り そ う い っ た 習 慣 付 け が 必 要 な の か な と 。 段 々 学 年
が 上 が っ て く る ご と に 時 間 を 延 ば し な が ら 、 毎 日 ち ょ っ と ず つ で も や る と い う
そ う い っ た 習 慣 付 け を し て い く と 、 家 庭 学 習 も 定 着 し て 学 力 向 上 へ 繫 が っ て い
く の か な と い う 感 じ は し ま す よ ね 。 家 庭 で の そ う い っ た 対 応 が 大 事 な と 思 い
ま す 。
- 議 長 ご 案 内 の と お り 、 こ の 調 査 は 特 別 支 援 の 子 は 除 い て の テ ス ト な の で す け れ ど も 、
皆 様 方 も 小 中 の 参 観 日 と か 実 際 に ご 覧 に な っ て 、 時 々 校 長 先 生 が お 話 す る 中 で 、
や は り 特 別 支 援 に 該 当 に 近 い よ う な 子 ど も い る と か と い う 発 言 が あ っ た か と 覚
え て い ら っ し ゃ い ま す で し ょ う か 。 そ う い っ た 関 係 が あ っ て 非 常 に 厳 し い 状 況
に あ る と お っ し ゃ っ て い ま し て 、 そ れ で 学 校 で 改 善 策 に 向 け て 、 中 学 校 で あ れ
ば 支 援 が 必 要 な 生 徒 に つ い て は 、 校 長 先 生 自 ら 放 課 後 残 っ て 学 習 指 導 し て い る
お 話 だ と か 、 西 陵 小 学 校 で あ れ ば 読 書 活 動 を 通 じ て 今 後 そ う い っ た 、 ま ず 算 数
や る に し て も 何 を 質 問 し て い る か ど う か 理 解 す る た め に は 国 語 が 大 事 だ と い う
部 分 が あ り ま す の で 、 そ う い っ た も の の 学 習 支 援 を し て き て い る と い う 、 学 校
で 独 自 に 特 色 を も っ て 活 動 し て お り ま す の で 、 来 年 度 に 向 け て 活 か さ れ て く る
の で は な い か と 注 目 し て い き た い な と 思 っ て い ま す の で 、 今 後 と も ご 指 導 ご 支
援 い た だ き た い な と 思 い ま す 。 よ ろ し く お 願 い し ま す 。

- 駒形委員 こういうところに向上策には、スマホやゲームが全道平均よりも高いというの
も関係あるのかなと。
- 佐々木委員 ゲームだとかはやりだしたら止まらないから。
- 事務局 これは小学校3校全体での結果なので、あと学校でも結果について分析してい
て、各PTAに結果を出しているということです。家庭でのそういった生活の
仕方だとかそういうもの学校の方で周知していると思います。
- 駒形委員 家庭で部屋にこもってやりだしたら多分止まらないですよ。
- 事務局 やはり家庭での勉強の時間も減ったりしますよね。
- 駒形委員 家庭の方でも少し考えて下さいと。学校ばかりではなくて。
- 佐々木委員 実際にお子さんのいるところでどういう感想を持っているか参考に。
- 事務局 ゲームですね。やはり可哀想だというようなことで持たせたのです。1日1時
間だよという話をしていましたが、休みの日になるとやっています。それと友
達を呼んでもやっています。四六時中やりはじめて本当に止まらないようです。
ですから、やることやらないと言っているのですけれども、ここにもあるとお
り、本を読んだり勉強する時間というものその分減っているでしょうし、やは
りゲームとスマホは大きな問題になるのかなと思います。
- 駒形委員 持たせますものね。この結果見ても。夜遅いとか朝起きれないとか朝ご飯食べ
ないって正にそれですもんね。
- 議長 幼児教育からスマホで子育てしている親御さんとかいますよね。そこからの問
題かなという気もします。いずれにしても難しい問題ですね。できる限り教育
委員会も学校と協力しあって学力向上へ向けて取り組んでいきたいという思い
でございますので、よろしく願いいたします。それでは、次へ進んでよろし
いですか。それでは、報告第2号に移りたいと思います。報告第2号平成29
年度教育費補正予算についてです。説明願います。
- 事務局 報告第2号平成29年度教育費補正予算についてであります。この12月20
日から22日まで開会されました、第4回町議会定例会におきまして教育費と
幼児センターに係る補正予算がございましてご報告いたします。なお、今回
の補正で各款項にわたり共通して町職員の人件費についても補正がございませ
ぬ。その要因としまして職員の配置替え等による補正、人事院勧告による国家公務

員の給与改定に伴いまして町職員の給与改定を行うこととし、賞与の補正を行っております。まず、改定の内容につきましては給与表で平均0.2%引き上げ、また、勤勉手当の支給割合を0.1ヵ月引き上げまして、期末手当と合わせた支給割合を年4.4ヵ月とするものでいずれもこの4月からして遡及して引き上げるものでございます。

【報告第2号平成29年度教育費補正予算について説明】

議長 この件についてはよろしいですか？

各委員 【なしの声あり】

議長 では、報告了承とさせていただきます。続きまして、報告第3号平成29年第4回町議会定例会における一般質問について説明願います。

事務局 それでは、報告第3号平成29年第4回町議会定例会における一般質問についてであります。一般質問でございますけれども、4人の議員から4項目の質問がございました。簡潔に内容を説明申し上げます。なお、いずれも4人の議員からは町長へ対する質問がございました。

【報告第3号平成29年第4回町議会定例会における一般質問について説明】

(内容) ①利用者ニーズに適した情報発信について

②日本原子力産業協会加盟の真意は

③食育の展開について

④「道の駅」について

議長 ありがとうございます。先日開催されました、第4回町議会定例会におきまして、4人からの一般質問がございまして、それに関する答弁内容を説明しましたが、この件につきましてお気付きの点等あればご質問等承りたいと思えます。いかがでしょうか。

佐々木委員 道の駅は高規格道路の関係がありますからね。

議長 4者から質問がありますけれども、やはり4番目の質問が1番厳しいご意見だったかなと思ってですね。改めて町長が発言して、前向きにとにかく設置するんだという意気込みを語りましたので、これに向けて次年度から職員も考えていかななくてはいけないなど。産業課に関わらず、役場一丸となって設置に向けて検討していかななくてはと認識しております。

佐々木委員 場所が一番ですよ。内容をどういうふうにしていくかというのがありますが場所が一番の課題ではないかと思うのですよね。
駅付近かインターチェンジ付近が良いのか、あるいは国道沿いが良いのかそれ

によって色々交通の流れが変わるのでね。実施計画は変わらないのだけれども。あとからできているところで素晴らしいのができているのもありますよ。中に観光協会を入れたり事務所を入れたりしているところもあるし。それなりに売り上げが上がっているところもあるし。

- 島 委 員 札幌では4ヵ町村と一緒にあってアンテナショップみたいにやっていますね。
- 佐々木委員 販売の業者が限られちゃうのですよ。共和町の場合農産物は期間限定だからだから。加工品が無いから難しいね。
- 水戸委員 検討中って言ってましたけど、道の駅について詳しいこととか何か決まっているのですか。
- 事務局 一応基本計画があって、その中で大体何年度というのが数字的なものが計画されているのですよ。何年度までに建設予定と。
- 水戸委員 それは決定？
- 事務局 ええ、決まっているのですよ。ただ、物は建ったはいいけれど運営は誰が実施するだとかはまだ全然決まっていないことなので。建物はできたけどやる人がいないと駄目ですよ。
- 教 育 長 簡単に言うと計画の中では、5年後くらいに横断自動車道が建設される訳で、それまでには建てるというふうになっています。だから町長もそれに向けて具体的にやっていきましょうと今回改めて発言されたということです。
まあ、道の駅も農産物の直売所を除いたら赤字というのは当然なので。交通利用者、ドライバーへ関するサービスの提供ということだから、そこで儲かることはあり得ない。
- 駒形委員 混んでいるところは混んでいますよね。
- 教 育 長 皆さんにもご支援いただくことになるかと思しますので、改めて今回当面は注目しとこうかなと思います。よろしくお願ひします。この件についてはこれで報告を了したとしてよろしいですか。
- 各 委 員 【なしの声あり】
- 教 育 長 ありがとうございます。それでは、報告の最後となりますが平成30年度教育費予算要求の概要について説明願ひます。

事務局 報告第4号平成30年度教育費予算要求の概要についてです。次のページをご覧願います。まず、最初に教育費総体の概要を申し上げまして、その後各所管の課長等から説明申し上げますのでよろしくお願いいたします。

【以降 報告第4号平成30年度教育費予算要求概要について 説明】

議長 はい。ありがとうございます。30年度の教育費予算要求の概要について3人からそれぞれ説明をいただきました。町総合計画の実施計画に搭載されている事業、それから、さしずめ新年度において必要な経費等を今の段階で職員が考えて計上してきた数字であります。今後、総務課事情聴取、町長査定等を踏まえて、この間、町政懇談会での町民からの要望等も含めて、予算計上して結果的には2月上旬には大方決まってくるというような運びになりますが、今現在で委員の皆様方がお気付きの点、確認しておきたい点を踏まえてご質問等受けたいと思っておりますがいかがでしょうか。

駒形委員 バスは四駆を予定しているのか？

事務局 いえ、四駆ではございません。経過的な部分も説明させていただきたいのですが、学校でのスキーの際のトランクの確保、それと人数的に60人は乗れるとなりますと、大型バスでなくてはならないといったような状況がございまして、非常に高額なものではありますが予算要求させていただいたという訳です。四駆ではないのですが非常に高額という状況であります。

佐々木委員 バスは特殊じゃなくて一般のものを使えるということですか？

事務局 メーカーでも比較的安価な型のバス、装備を外しているバスを出してきているところ、また、普通の大型バスを出してきているメーカーもあるというような状況でありまして、それらを金額的にどうだということで、今仕様も含めながらちょっと課題になっているということでもあります。

議長 他に質問は。

駒形委員 本当に子ども達を背の高いバスに乗せるのですか？

事務局 60人乗せるというのをまず大前提にしています。それで選べるのが2つしかないのですね。観光用バスと低床型バス。低床型バスであると、山に行ったら走れなくなるということにして、関係者からの聞き取りと事業者からの聞き取りをしたのですが、お勧めできませんといった部分がありまして、今の予算要求の中では大型バスということで説得しているところです。

- 駒形委員 車庫は大丈夫か？
- 事務局 問題ありません。
幅と長さは変わらないのですが、平成14年当時のバスよりも高さが高くなりまして30cm、ある意味ギリギリではあるのですが、ちょうど今の福祉バスが大型バスと高さは一緒ですので、それを入れて長さは一緒だと幅も一緒なので収まるということにはなっております。
- 佐々木委員 バスは老人クラブでも使用したりするのでステップが高くなると乗り降りが大変だよ。下に何か置かないと、乗り降りが。それは付かないでしょうね。
- 事務局 ええ、付いてませんね。サスがぐっと下がるという機能は付いているのですが、それでも高齢者の方が乗るとなった時は低床型のバスに比べれば高い。
- 佐々木委員 使用目的のメインは児童生徒のスクールバスですからね。
15年も20年もこれから乗るのだから、しっかりしたものを購入するべきだと思いますよ
- 駒形委員 予算の関係もあるが。
- 事務局 これからの査定がありますので。
- 議長 目玉的な事業です。
- 佐々木委員 もう1ついいですか？図書の購入費用なのですけれども、これは前から毎年組まれている金額で、蔵書の数もそれに沿ってやっているということよろしいですか？
- 事務局 今おっしゃったように、当初から計画的にやってきており若干増額ということをお願いしていきます。
- 佐々木委員 ちょっと減ったことがありますよね。最初の予算より。
- 議長 他の委員さん方も予算に意見反映できる貴重な時間なので。決まってしまうたらもうどうしようもないのですけれども、今の段階では。
- 佐々木委員 ALTというのは業者へ委託して来てもらっているのですけれども、教育委員会所属という考え方は無いのですか？教育委員会で採用して中学校小学校以外にも幼児センターなど色々な場所で活躍していただけるような体制というのはとれないのですか？

- 事務局 今のところは委託というかたちで考えています。
- 佐々木委員 地域に密着していい面もあるのではないかなと。その都度1年2年で変わるとまた一からなので。ずっと採用するとなると予算の関係もあるので、大変厳しいと思いますが。
- 議長 貴重な意見をいただきましたけれども、正職員も不足している、保育士も不足しているという中でALTだけ正職員化というのはなかなか難しいかなという部分がありますので、凄くいいことだなと思いますけれども、全体的なバランスもありますのでご理解いただきたいなと思います。他にどうでしょうか。
- 島委員 来年度に基本計画が最終年で新しく策定しますよね。それで教育委員会として、今の基本計画に関係する中に、教育の今後10年先、第8次計画に提案できるような機会がないかと。専門ですので教育委員会は。そういうようなものが無いのかという。
- 議長 やはり基本となるのが総合計画なのですよね。これが1番上位の計画なので、それを上回る計画というのはいり得ないのですよね。補助的な機関は考えられますが、総合計画の中で意見反映してもらって、なおかつそれぞれ単年度単年度で考える町政執行方針を踏まえて、それで随時ご意見いただくことしかないかなと思います。
- 事務局 策定委員の学校教育分野でいうと校長会会長。あとは生涯学習課が所管する団体の策定委員さんですね。
- 島委員 町全体でやり取りがあると思うのだけれども、特化して教育部門で言うと教育長と入って言うというのは将来的には必要なことだなと。
- 議長 総合計画を進める中で、途中経過を各委員さん方にお知らせする機会が必要ですね。
- 島委員 そういう部分で視察をしてきている経過もありますからね。
- 事務局 意見を聞きながら次期計画の中へ反映させていくということで。
- 議長 やはり、委員さん方の意向を職員が考えて汲んで、総合計画の審議会に反映していくと。

島 議 員 教育予算は町のかなりを占めている訳ですよ。目玉というか、1番大事な部門だなという感じがするのですよ教育委員会。やはり総合計画の中に主立った方々がそういう会議にいた方がいいのではないかなど。

事 務 局 事務局として職員は、策定プロジェクト等に使う原案的なものを計画とか作って行くので、そういった部分で反映させることはできるかなと思いますけれどもね。

議 長 これから各部会で色々な団体が入ってくるのですよね。その中で特に教育委員会としても意見反映したいから、そういった機会を設けてくれといったことで進めていく方法や委員さんへこういった場で中間報告して、この件についてはどうだというような意見をお聞きすることが可能と思います。今後、意見反映できるように考えていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

教 育 長 ありがとうございます。この件についてはこれで報告を了したということにさせてもらってよろしいですか。

各 委 員 【なしの声あり】

議 長 それでは、最後になりますがその他に入らせていただきます。諸般報告。

事 務 局 【管理課 諸般報告】
【生涯学習課 諸般報告】
【学校給食センター 諸般報告】
(内容) 各課1月の行事について報告

議 長 ありがとうございます。続いて2) 1月の行事予定について続けてお願いします。

事 務 局 【管理課 行事予定表に基づき説明】
【生涯学習課 行事予定表に基づき説明】

議 長 ありがとうございます。それでは最後になりますが、その他説明願います。

事 務 局 3) その他ですが、先程も説明しましたが、行事予定の方でお話しましたが、1月7日日曜日成人式の終了後、午後4時30分から例年実施しております、教育行政懇談会を開催いたします。成人式終了後、事務局で各委員ご自宅まで迎えに参ります。この時間帯でよければよろしくお願いいたします。以上です。

- 議 長 はい。ありがとうございました。その他については3点全体を通してご質問等承りたいと思いますがいかがでしょうか。
- 水 戸 委 員 成人式は写真撮影とかは成人の人だけですか？
- 事 務 局 写真撮影はですね、町長、議長、教育長、社会教育委員長の4名に出ていますので、皆さんには午後1時30分からの祝う会に出席いただければと思います。
- 議 長 他にご質問はいかがでしょうか。無ければ来月の教育委員会の日程を。1月29日月曜日はいかがでしょうか。
- 事 務 局 では、次回1月29日月曜日午前10時から。
- 議 長 よろしく願いいたします。では、全体を通してご質疑等あれば承りたいと思います。いかがでしょうか。無ければ閉じていいですか。
- 各 委 員 【なしの声あり】
- 議 長 はそれでは以上をもちまして、第14回教育委員会議を終了させていただきます。皆様方におかれましては今年1年本当にお世話になりました。ありがとうございます。明年が良い年でお迎えできるようご祈念しております。以上で終わりたいと思います。

午前11時48分終了